



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2012 **10**



9月5日(水)、「食事のムダを見直す」をテーマに「第2回 生活問題研究会」を開催。「食べ物を摂取する適量」や「食の行動経済学」について学びました。(関連記事P.4)

すべての勤労者の 笑顔のために

本年6月に近畿労働金庫第14回

通常総会で兵庫地区統括本部長に就任し、兵庫県生活協同組合連合会第62回総会で理事に選任されました。金融業界は未経験の世界ではありますが、ご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

労働金庫は働く仲間が創った協同組織の福祉金融機関として「働く仲間のお金は働く仲間の暮らしを支えあうために循環させる」ことを目指してきています。もちろん、営利を目的としない金融機関として、働く人たちからお預かりした資金は、働く人たちの大切な共有財産として、住宅・結婚・教育資金など、働く仲間とその家族の生活を守り、より豊かにする生活者本位に考える金融機関として事業を推進していかなくてはなり

ません。

しかし、近年、私たち勤労者を取り巻く環境は年々厳しくなってきています。円高の定着、そしてエネルギー問題やグローバル社会の急速な進展により、各企業の構造改革と企業の海外進出の進展により厳しい雇用情勢と経済環境となつていきます。

この様な状況下、労働金庫は働く人たちの生活応援バンクとして課せられた役割は益々大きくなつてきています。引き続き「生活バックアップ」を合言葉に、働く人たちのニーズに答えるべく、国や県との提携融資を始め様々な融資制度の実現化を図っています。
2012年4月の全国統合「日本労働金庫」構想は先送りととなりましたが、現在、近畿労働金庫を

CONTENTS

- | | |
|---|---|
| <p>2. 想点</p> <p>4. 「兵協連 第2回生活問題研究会」報告</p> <p>5. 「第24回 近畿地区生協・行政合同会議」報告</p> <p>6. 「兵協連 第1回災害対策委員会」報告／赤い羽根共同募金</p> <p>7. 「第15回 監事研修会」のご案内／単協通信 生活協同組合コープこうべ</p> <p>8. 単協通信 生活クラブ生活協同組合都市生活／神戸医療生活協同組合</p> | <p>9. 単協通信 姫路医療生活協同組合／神戸市民生活協同組合</p> <p>10. 協同組合のかけ橋</p> <p>11. 兵庫県のページ</p> <p>12. 「兵協連 役員職員体育大会（ボウリング大会）」ご案内／県連日誌／編集後記</p> |
|---|---|



近畿労働金庫兵庫地区統括本部 本部長
兵庫県生活協同組合連合会 理事

若山 忠義

(わかやま・ただよし)

はじめ全国13の労働金庫では2014年1月にシステムを統合すべく、次世代システム移行準備作業を進めています。経営基盤の安定性の向上や全国各地でも統一した商品の利用や今まで以上のサービス提供の実現を目指しています。

また、2012年度からの第五次中期経営計画では「すべての勤労者の笑顔のために」、地域に貢献し、さらにウイングを広げた取り組みも展開してまいります。

昨年度は東日本大震災による被災地の復興を願い、復興支援定期「サポートV」を取り組みました。

近畿全体で161億円の定期預金をお預かりし、今後10年間で「あしなが育英会」「夢風基金」両団体に1億6870万円の支援ができます。たくさんの方々からの支援の厚情を長期に渡り、しっかりとお届けしてまいります。

本当に有難うございました。

これまで、兵庫地区統括本部独自では「あしなが育英会」を通じ、

災害・病気などの遺児支援に1998年より2012年9月まで「社会貢献預金・笑顔スピリッツ」を取り組み、約1170万円の支援を行ってきました。今後は次世代システム移行に伴い、リニューアルしパワーアップした「社会貢献預金・すまいる」の取り組みを今月10月にスタートさせます。

4つの寄付コース(①エコ推進コース②子どもたちの未来応援コース③災害復興支援コース④国際協力コース)の各分野の団体活動を応援するから選んでいただく定期預金商品で、近畿労働金庫の新たな社会貢献預金となります。

「社会貢献預金・すまいる」への参加(預金結集)を通じた「意思あるお金」の流れをつくることで、助け合いの輪をさらに広げ、共生の社会づくりを目指していきます。私が幼少期に体験した、隣近所で醤油や塩・砂糖などを貸し借りしたり、お風呂のもらい湯などをしていたことを思い出します

と、時代が変わっても、人が生きていくためには「お互いに助け合う」という心を持つ事の大事さ、尊さについて、労働金庫運動を通じ、助け合いの精神を金融事業のなかで発揮してゆき、後世に継承して行きたいと考えます。皆様にもご協力をよろしくお願いいたします。

「ろうきん」は、『働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関であり会員が行う経済・福祉・環境・および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びを持つて共生できる社会の実現に寄与すること』を目的と唱っています。

2012年国際協同組合年を契機に、労働金庫運動が兵庫県から始まり全国に広がり今日を迎えていることを再認識し、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹し、会員の信頼と生活・福祉の向上ニーズに答えるため精一杯努力し、職責を果たし元気な近畿労働金庫を目指して行きたいと考えます。

～くらしの見直し～ 「食のムダをなくそう！」を学ぶ

～第2回「生活問題研究会」学習会を開催～

9月5日（水）、兵庫県民会館にて「第2回生活問題研究会」を開催しました。この研究会は、1990年度に「豊かなくらしを実現するため生活者の立場から提言する」目的で発足されました。

社会的関心が高く、生協としても取り組んでいくべき今日的テーマについて、会員生協の役職員がメンバーとなり、日常的に接点の少ない異なる分野の生協間で、互いの活動状況や持っている情報の交流をしながら、テーマに沿った研究を深め、各生協での取り組みに活かしていくことをめざしています。



神戸医療生協 本部 健康推進課
管理栄養士 山崎絵里 氏

今回の研究会は学習会として、神戸医療生協 本部 健康推進課 管理栄養士 山崎絵里氏を講師に迎え「食のムダをなくそう！」をテーマに開催し、12名が参加しました。

「クリームパン1個分は、どれくらい歩くと消費できるか？」などのクイズに答えながら、「世界の食糧事情」や「主菜～食べ物の適量とは？」、「食の行動経済学（食の満足度）」、「心のムダ、食品のムダを省こう！」などについて講演いただき楽しく学ぶことができました。

参加者からは「栄養の摂取は、1日単位で考えなくてもよいことが分かって良かった」「毎日の食事は、手を使う“手ばかり法”が、すぐに実践できて良い」「食の片寄せた情報に惑わされることなく、バランスの良い食生活について、組合員にどのように働きかけていけば、もっと効果的に伝えることができるのかが課題である」などの感想が寄せられました。

また、講演後の質疑応答にもたいへん丁寧に対応いただき、改めて、日々食べることの大切さを再認識する学習会となりました。

1日の果物の適量は…



熱心に聞き入る参加者

第24回 近畿地区生協・行政合同会議 報告

テーマ

「協同組合がよりよい社会を築きます ～今年も国際協同組合年です～」



第24回近畿地区生協・行政合同会議が、8月31日(金) 午後、琵琶湖ホテル(滋賀県大津市)にて開催されました。この会議は、福井・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・京都・大阪の近畿2府5県の府県連生協連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」の主催により開催し、地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的とし、本年で24回目を迎えました。当日は、厚生労働省近畿厚生局健康福祉部をはじめ、日本生協連、近畿地区2府5県の生協行政担当者および生協連役職員の合計43名が参加し、テーマに沿った報告と質疑が行われました。

【開催内容】

滋賀県生活協同組合連合会 西山 実 専務理事の司会のもとに開催され、近畿地区生協府県連協議会代表 本田英一 兵庫県生協連会長理事の挨拶に続いて、滋賀県 総合政策部 西嶋栄治 部長よりご挨拶をいただきました。

(1) 近畿厚生局と日本生協連の報告

厚生労働省近畿厚生局健康福祉部・篠崎隆男 部長から、ご挨拶とともに生協運営に関する改善要望点についてお話いただきました。

「理事会の運営について」「規則・規程等の整備について」「監査計画について」「決算関係書類事業報告書について」等

続いて、日本生協連・青竹豊 執行役員から、全国の生協の取り組みについて報告されました。



挨拶をされる本田会長

(2) 特別報告

関西大学 商学部副学部長 杉本貴志 教授より「協同組合、生協への期待と役割～2012国際協同組合年を契機として」と題して特別報告をいただきました。

「ロジック原則と協同組合原則」「“マルチステークスホルダー協同組合”という発想について」「IYCにおける協同組合への期待」など、生協への提言と期待についてご講演いただきました。



講演をされる関西大学 杉本教授

(3) 報告と意見交換

各府県行政、生協および消費者支援機構関西から、以下の報告がありました。

①「京都府における協同組合間提携の取り組み」

京都府生活協同組合連合会 事務局長 坂本 茂 氏

②「くらしの安心 地域とともによりよい奈良を築く」

奈良県生活協同組合連合会 専務理事 辻 由子 氏

③「滋賀県 低炭素化社会の実現に向けて」

滋賀県 温暖化対策課 参事 武村 智司 氏

④「消費者支援機構関西の活動報告」

適格消費者団体 消費者支援機構関西 理事・弁護士 島川 勝 氏

引き続き開催された懇親会では情報交換を含め、貴重な交流の場となりました。

2012年度 第1回災害対策委員会を開催

8月23日(木)兵庫県民会館において、「2012年度第1回災害対策委員会」を開催。10名が参加しました。

冒頭、三宅専務理事の挨拶のあと、兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課 課長補佐・星野 美佳氏の挨拶に続き、「兵庫県防災計画概要と来るべき東海・東南海・南海地震への備えについて」をテーマに、兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課 防災計画係 主任 増井政道氏よりお話をいただきました。

「中央防災会議による最新の知見による南海トラフの巨大地震が発生した時の被害想定が8月末に公表される見通しですが、兵庫県の現在の津波被害(人的・物的被害)想定は、従来の2倍に基準を設定し津波対策を行っています。基本方針では、第1に、海岸保全施設の整備等により、被害を生じさせないよう「防御」するためのハード対策。第2に、住民の避難に重点を置いたハード、ソフトを組み合わせた総合的対策。兵庫県の被害想定を受けて各自治体ではハザードマップを作成していません。地元自治体から情報を入手して津波被害想定、避難場所、避難経路の確認と訓練が重要です」と強調されました。最後に室内の安全対策として家具の固定の重要性についてと、住宅再建への公助・共助の仕組みづくりとして兵庫県が進めている「住宅再建制度(フェニックス共済)」加入の重要性を強調されました。

その後、出席の各委員より、各生協での防災に関する取り組みについての報告がありました。ご意見の中で防災計画を一人ひとりの職員の役割として明確にしているとの報告があり、初動の重要性を共有化しました。

最後に兵庫県と兵庫県生協連が2008年1月に締結した緊急物資協定の全項目および実施細目の読み合わせを行い、特に情報連絡の流れについて確認をしました。



防災についての備えを共有しました

やさしさが 必ずとどく 赤い羽根

兵庫県共同募金会マスコット
あかほねちゃん



赤い羽根共同募金

10月1日(月)~12月31日(月)

集められた共同募金は、
県内の地域福祉活動のために使われます。

◆
また、募金の一部は積み立てられ、
災害時の被災地・ボランティア支援に
使われています。

◆
あたたかいご協力をお願いします。

社会福祉法人 兵庫県共同募金会

www.akaihane-hyogo.or.jp

2012年度 第15回「監事研修会」のご案内

2012年度の「監事研修会」は、監事のみなさまに「監査実務」や「監査のポイント」を中心に研修を実施いたします。会員生協の理事、監事の皆さま、担当職員の皆さまの積極的なご参加をお待ちいたしております。



2011年度 監事研修会

開催日時／11月7日（水）午後1時30分～4時

開催場所／兵庫県民会館 3階304号室（神戸市中央区下山手通 4-16-3）

定員／50人（申し込み先着順）

参加対象／会員生協の監事および理事、ならびに担当職員

内容／◆講演

「監事・監事会の役割と指導検査で見受けられる問題点」

講師：兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課

「決算書の見方と勘定科目の監査のポイント」

講師：兵庫県生協専門検査員 今岡 重貴 氏（公認会計士）

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 TEL(078)391-8634

単協通信



会場にはゆるキャラも大集合

生活協同組合コープこうべ

交通安全県民表彰

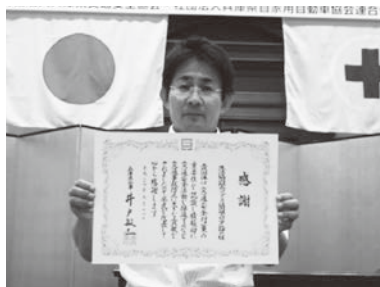
協同購入センター北神戸の

取り組みが認められる

9月12日(水)、兵庫県公館で平成24年度「交通安全県民大会」が開かれました。これは、交通事故の無い兵庫をめざして、毎年、秋の全国交通安全運動の時期に先立って開かれているもの。

その中で、交通安全に功労があった91人・27団体に對して知事感謝状が贈

られました。コープこうべでは、協同購入センター北



協同購入センター北神戸・為平センター長

いただきました。

大会には、為平浩幸センター長が出席。「今回は協同購入センター北神戸がいただきましたが、コープこうべの宅配事業全所属の職員が、日ごろから無事故無違反はもちろん地域の模範となるマナーのある運転を行ってきた結果だと思っております。現状に満足することなく、運転においても地域に貢献できるよう、さらなる安全運転に取り組んでまいります」と、喜びと同時に決意を新たにしました。

(通信員 榎原晶子)

生活クラブ生活協同組合都市生活

14000人のほっとコミュニケーション 今年も元気に開催中

生活クラブ都市生活の情報交換の場「14000人のほっとコミュニケーション」8月末で早くも24箇所開催されました。更に下期に向けて開催箇所を増やしています。今年度は、より組合員が集まりやすいように、組合員から「ここでやったらどう？」の情報をもらい、商店街の空き店舗など、今まで使ったことのない



い会場での開催にも挑戦しています。

夏は子供向けの縁日企画を取り入れたものが大人気です。消費材を使った屋台やコイン落とし、金魚すくいや的当て・輪投げに子供たちは夢中です。その間、お母さん達はカタログを見ながら情報交換をしたり即売品の品定めをしたり、親子そろって満足の日です。この夏意外に子供たちに人気だったのは、なんと…きゅうりの浅漬け。箸に刺した丸々一本のきゅうりを子供たちが笑顔で頬張っていました。

(通信員 紺本 直)



神戸医療生活協同組合

口からはじまる月間スタート集会

9月2日、神戸医療生協の月間スタート集会が175名の参加で行われました。

「口から見える元気で長生き！健康は健口から」というテーマで常盤大学の足立了平先生の記念講演が行われました。

「噛む」という行為は食物を咀嚼し、飲み込みやすくするという行為であるとともに、口から脳に大量の感覚情報を伝えたり、食べ物の消化をしやすくするなど全身に様々な影響を与えています。例えば、噛むと脳の血流がアップし、記憶力アップや認知症の予防につながると言われています。

また、日本人の死因の4位になっている肺炎は口の中の環境と大きな関わりがあるとされており、東日本震災の際にも震災関連死を減らす取り組みとして口腔ケアが注目を浴びました。

講演の後には楽しく豊かな班会をテーマに寸劇が行われ、月間のヒントになりそうな班会の紹介が行われました。

神戸医療生協では、9月10月を口の健康づくりをテーマに、噛むことの大切さを班会で地域に広めていく活動を行っています。



また、11月12月にはがん検診推進をテーマとして、がん検診の大切さや大腸がん検診を地域に広めていき、組合員さんと一緒に地域の健康を守る活動をすすめていきます。

(健康推進課 山崎絵里)

姫路医療生活協同組合

訪問リハビリステーションを

開設しました

共立病院では新規事業として「訪問リハビリステーション共立病院」を8月1日に開設しました。

この事業は共立病院に付帯した事業で、共立病院へ入院し退院された後よりリハビリの継続が必要な方について訪問リハビリを提供する事業です。退院直後から訪問し実際の生活場面で一人で出来ること・出来ないことの評価、生活動作練習、道具の工夫、家屋の危険箇所チェックなど、家庭生活を安心して送れるようなりハビリを行います。

したがって、運動機能や日常生活動作能力の改善をはかることを目的にしているため、訪問当初に、患者さまとご家族さまとリハビリの目標や期間を決めておこないます。



対象者の具体例をあげると、入院中リハビリを受けていたけれど退院後、通院や通所のリハビリが困難な

方、病気治療のため入院し安静臥床が多

く、退院してみると以前出来ていたことができなくなってしまう

た方、在宅で介護サービスを受けており、手すりや住宅改修や福祉用具の適用などワンポイントアドバイスを受けた場合、最近は食事をする時にむせてしまうなどの嚥下機能の低下で不安な方、認知症の進行で生活機能全体が低下した方等々、リハビリ専門職から直接指導や助言が必要と思われる方が対象となります。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問してリハビリの実施、アドバイスをを行います。

(訪問リハビリステーション共立病院)

所長 山崎珠美



神戸市民生活協同組合

風見鶏の館で

サマーコンサートを開催しました

8月24日(金)に、風見鶏の館において「サマーコンサート」を開催しました。このコンサートは日頃異人館を訪れる機会の少ない方々にも、異人館により親しみを感じていただこうと企画し、毎回好評をいただいております。

今回は特別に「NPO法人六甲山と市民のネットワーク」の協力をいただき、六甲山の曲を中心に、声楽とピアノにより、数々の曲が演奏されました。こちらの団体は六甲山の活性化を目的に、市民に自然・歴史・芸術など様々



歌声で会場がひとつになりました

な角度から六甲山の魅力を伝える普及活動をされている団体です。

コンサートの前半は「献呈」や「ひばり」といったピアノ演奏やモーツァルトの歌曲が演奏され、後半では「六甲山の曲」と「六甲山の歌」が披露され、会場の参加者の方々にも一緒に合唱していただきました。「六甲山の歌」は「六甲山の曲」の歌詞を全国から公募し、できあがったばかりのものですが、おだやかで美しいメロディと詩がぴたりとあつて、大変心に沁みる曲となりました。

参加者の方々からは、「やさしい六甲山の曲、感動しました。さわやかな夕べでした」「神戸をもちたてていただけてありがたいございます」などの感想が寄せられ、風見鶏の館については「音楽がよくひびいて、コンサートにふさわしい」といった多くのお声を頂戴しました。

風見鶏の館からは六甲山もすぐ間近に見ることが出来ます。これからも地元の視点を大切にして、より多くの市民の方々に訪れていただきたいと思

(通信員 鹿田裕子)

JF 県洲本農林水産振興事務所

『漁師さんになろう』 五色町で漁協体験を実施しました！ ～漁師さんの仕事を体験し 漁業と水産について学ぶ～

8月24日(金)～26日(日)の2泊3日の日程で、阪神間から参加した小学4年生～中学1年生の27名を対象に洲本市五色町都志で漁業体験が行われました。

この漁業体験は、社団法人兵庫県子ども会連合会が漁業への関心を高めてもらおうと企画し、JF 五色町(播磨 孝次組合長)および同 JF 有志の煽グループ(柳 明良会長)の協力のもと2年ぶりに実施されたものです。

体験では、まず初日に地引網を行いました。網に入っていたのはマダイ、チヌ、マダコなどで、子どもたちは手につかみ大喜びでした。その後、県洲本農林水産振興事務所から漁師の仕事や、魚を増やす取り組みなどについて説明し理解を深めてもらいました。

2日目は漁船に乗り込み、タコつぼや刺網を引き揚げた後、陸に戻って網はずしまでを体験しました。ここでも獲れた魚に子どもたちは大喜びでした。午後からは獲れた魚を使い、漁師さんに魚の捌き方を教えてもらいながら調理実習に挑戦しました。

3日目は「海上交通ルール」など漁師さんの仕事に関わる話を聞いた後、ロープワークに挑戦しました。はじめはうまく結べずに苦戦していましたが、漁師さんに教えてもらい結べるようになると、得意そうに何度も解いては結ぶことを繰り返す子どももいました。最後に班ごとに3日間のまとめに取り組み、それぞれが印象に残ったことや学んだことを元気よく発表していました。

漁師の話を聞き、漁船に乗り込み、魚に触れるという機会はなかなか無く、貴重な夏の思い出となったのではないのでしょうか。一人でも多くの子どもが漁業や魚に関心を持ち、少しでも魚を食べる機会が増えるきっかけになって欲しいものです。



みんなで頑張って引きました



貴重な体験となったようです



播磨組合長も参加したロープワーク体験

JA グループ兵庫

日本酒の風味ほんのり 「山田錦酒粕ようかん」

JA 兵庫みらいは、特産の酒造好適米「山田錦」を多くの人に広くアピールして振興につなげようと、「ひょうご農商工連携ファンド事業」で神戸市の製餡メーカー(株)松原製餡所と連携して、「山田錦酒粕ようかん」を開発しました。同 JA の農産物直売所「かさい愛菜館」、「三木みらい館」、「サンパティオおの」、「サンパティオおのゆびか店」の4ヵ所で8月3日より販売しています。

同 JA 管内は、全国有数の「山田錦」の産地。全国各地の酒造会社に出荷しており、高い評価を得ています。

新発売した「山田錦酒粕ようかん」は、今年の4月に発売した「いちじくようかん」に続き、兵庫県が策定する「ひょうご農商工連携ファンド事業」を活用した商品開発の第2号。日本酒の風味がほんのり広がる上品な甘さに仕上げ、女性やお酒の弱い方にもお勧めです。

開発担当の職員は「たくさんの人に食べていただき、山田錦を知ってもらえれば」とPRしています。

「山田錦酒粕ようかん」は1本(300g) 500円。お問い合わせは同 JA 営農部(0790-47-1282)まで。



新発売の「山田錦酒粕ようかん」



最近の消費生活相談事例

再生可能エネルギーに 便乗した投資トラブルが急増！

事例

風力発電用の土地を購入する権利がある会社に出資すれば、年8%の配当がつくという内容のパンフレットが届いた。数日後、別会社から、「代わりに出資してもらえば、後で3倍の額で権利を買い取る。」との電話があった。信用できるか。

【アドバイス】

平成24年7月から再生可能エネルギー〔太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス（生物資源）〕の固定価格買取制度が始まるなど、太陽光や風力などの再生可能エネルギーが注目されています。一方で、再生可能エネルギー関連事業への詐欺的な投資トラブルについての相談が増えています。

手口としては、再生可能エネルギー投資関連パンフレットが送付され、その前後に証券会社の者と名乗る人物などから電話で投資を勧められるというものです。その際、再生可能エネルギーなど、ニュースや新聞でよく取り上げられる用語を用い、将来性のある投資と思わせたうえで、「高配当」「限られた人だけ購入できる」「後で高値で買い取る」といった話を聞かされ、勧誘を受けるケースがほとんどです。

被害にあわないために、①「再生可能エネルギー」の言葉に惑わされない、②「高値で買い取る」、「あなたが特別に選ばれた」、「高配当」などのうまい話は信用しない、③お金を払ってしまうと返金は困難になるので、内容の理解できない取引には手を出さない、④怪しい勧誘電話やパンフレットの送付があれば最寄りの消費生活センターへ相談する、などしましょう。

（兵庫県生活科学総合センター）

MOVE

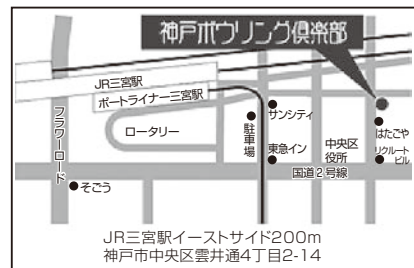
2012年度

会員生協役職員体育大会のご案内

昨年、会員生協役職員34名が参加し、大いに盛り上がったボウリング大会を今年も引き続き開催します。会員生協役職員相互の交流を深めましょう。お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようご案内いたします。

◆ボウリング大会

- 開催日時：** 11月17日(土)
午後3時～午後5時30分頃
(受付 午後2時30分～)
- 開催場所：** 神戸ボウリング倶楽部 (右図参照)
- 参加費：** 無料 (プレー費・靴代は県連が負担します)
- 出場資格：** 会員生協役職員
16チーム (1チーム4名) 計64名
※各会員生協最大で2チームまで。
但し、コープこうべは最大で4チームまでとします。
- その他：** プレー終了後、団体および個人表彰をおこないます。(各賞、多数あります)



昨年のボウリング大会



お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 (担当 中尾) まで TEL(078) 391-8634

県連日誌

- 10月1日(月) 兵協連
第3回理事会・第2回貸付審査会
(県民会館 1201)
- 10月9日(火) 2012年度兵庫県生協大会
(県民会館 けんみんホール)
- 10月17日(水) 兵協連 第1回医療生協部会・
組織担当者会議
(県民会館 ばら)
- 10月28日(日) 兵協連 役員体育大会 (野球・
予選) (津門中央公園・野球場)
- 10月29日(月) 兵協連 第2回監事会(監事監査)
(兵協連事務所)
- 10月31日(水) 兵協連
第4回ピースアクション委員会
(県民会館 302)

編集後記

秋の声を聞くと、いろんなことにトライしてみたい気分です。地域で開催される「一日教室」で参加してみたのは、陶芸、絵手紙、スキューバダイビング、朗読……。そこから新しい趣味が生まれたり、生まれなかったり。☆先日、新聞の隅っこに掲載されていた記事に、私の五感が反応しました！それは「一日腹話術教室」。さっそく出かけてみると、子どもからご年配の方まで、みんなが人形の一挙手一投足に注目。そして、みんな笑顔です。「なかなか筋がいい」などと指導者の方々にのせられて(？)、貸していただいた可愛い服を着た男の子の人形にも愛着が湧き、口角をキープし過ぎて、ちよっと口の周りの表情筋がつったような気もしました。が、しばし癒しのひとときでした。

(中尾)